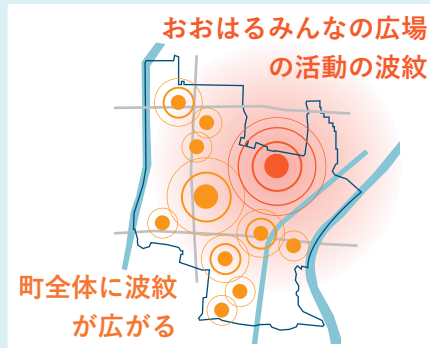


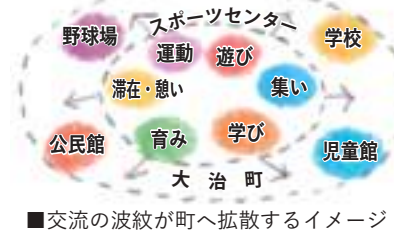
おおはるの町全体へ広がり、つながる「交流の波紋」

基本構想コンセプト「おおはる みんなの広場」のもと、子どもや保護者を中心とした多世代交流が実現でき、町民に愛される新たなスポーツセンターを実現させます。そして大治町のイメージアップマークのように子供たちが大きく飛翔することを応援するための子どもの居場所を整備します。本施設を中心にスポーツセンター全体、さらには大治町全体に活動が波紋のように広がります。



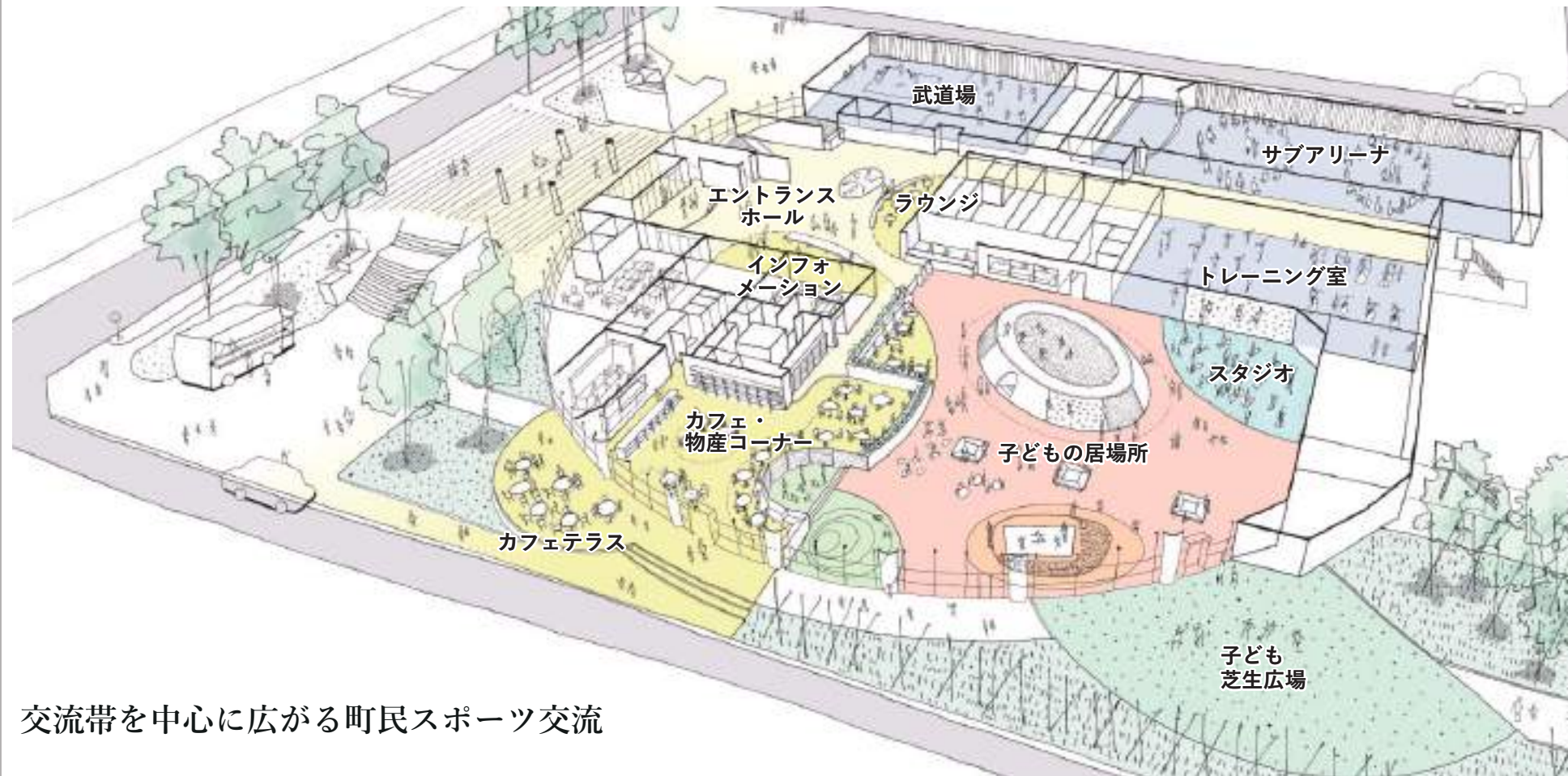
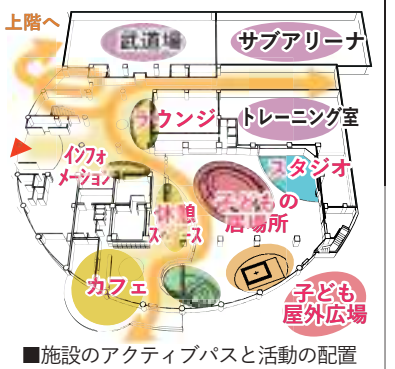
交流の波紋が町へ広がる提案

スポーツセンターを中心に主に6つの交流活動（運動、集い、滞在・憩い、遊び、育み、学び・励み）が広く展開する施設計画を目指します。



様々な活動を結びつける「アクティブパス」

新たなカフェと武道館、サブアリーナ、体育館の活動を結ぶ活動軸「アクティブパス」を大切にし、パスに沿って心地良い滞在空間を配置します。



交流帯を中心に広がる町民スポーツ交流

○遊具の考え方

スタジオ

教室がない時間は子どもの居場所と一体的に利用できる遊び場となります。エントランスホールから場所を認識できるようにサイン等を設けます。

乳児 (0-2 歳児)

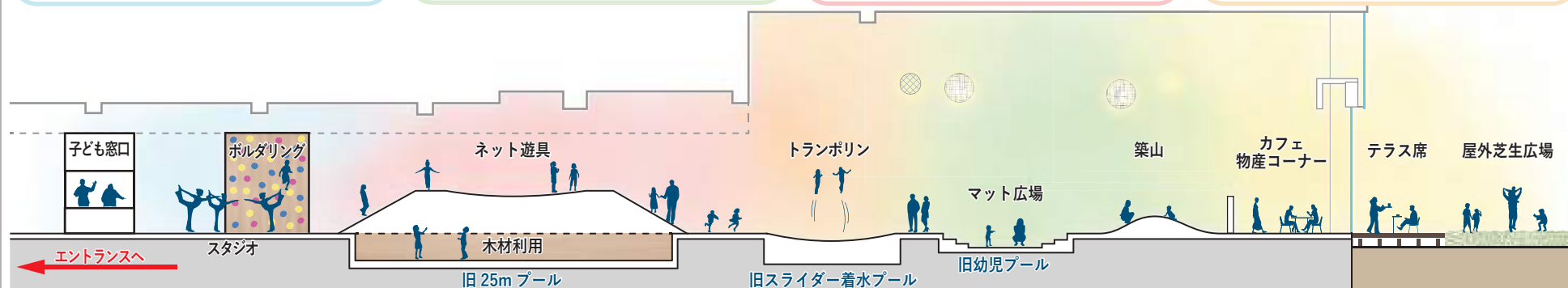
安全安心な遊び場を整備します。乳児の手の高さに合わせた玩具広場や起伏のある小山で手や足で感じることを学びます。

幼児 (3-5 歳児)

大型のネット遊具など自分の身長より大きな遊具で昇降運動を行います。揺れるネットの上でのバランス感覚やモノを使って遊ぶ能力を向上させます。

児童 (6 歳以上)

既存プールと吹抜けを活かした遊具を用いて、高度な身体的な運動を行います。武道場やサブアリーナを活用し、スポーツセンターを活性化させます。



○想定スケジュール

工程	年	令和6年				令和7年				令和8年
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
基本構想時の想定工期		基本設計・実施設計				改修工事				
提案工期		基本設計(5ヶ月)		実施設計(6ヶ月)		予備調整期間(1ヶ月)		改修工事(11ヶ月)		

■全体スケジュール

※上記資料は技術提案時の内容であり、今後の設計等において変更となる可能性があります。



■外観パース



■内観パース (子どもの居場所内)



■内観パース (カフェ内)



■内観パース (子どもの居場所内)